

平成25年度

施政



うるま市長
島袋俊夫

方針

市政運営の基本姿勢

2月27日、第75回うるま市議会定例会が開かれ、島袋市長が平成25年度の市政運営の基本方針や主要事業の概要などをまとめた施政方針を発表しました。

第75回うるま市議会定例会が開催されるにあたり、私の市政運営に対する所信と主要事業の概要を申し上げます。私は、市長に就任して以来、「うるま

市はひとつ・市民協働のまちづくり」をスローガンに、地域経済の活性化と市民生活の安定を最優先に、3つの目標を掲げ市政運営に取り組んでまいりました。

まず、「うるま市はひとつ・市民協働のまちづくり」については、まちづくりの課題を市民と行政が共有し、共に取り組んでいくため、各中学校区で地域・行政懇談会を開催するとともに、本年1月には「男女共同参画宣言都市」として記念式典を執り行いました。

また、かねてから交流のあった岩手県盛岡市と友好都市提携を行い、関係団体と連携し交流事業を実施しました。

次に1つ目の目標「経済の活性化と失業率の改善」については、平成22年

国勢調査における完全失業率の結果を受け、うるま市緊急雇用対策本部を設置し、全庁体制で失業率改善対策に着手するとともに、うるま市グッドジョブ連携協議会との連携によるキャリア教育も推進しました。

また、昨年度に創設された沖縄振興特別推進交付金（以下、「一括交付金」という。）を活用し、うるま地域雇用人材育成事業や失業対策アクションプランの策定、就活サポート「であえくる」の設置運営などに取り組むほか、厚生労働省の補助を受けうるま地域雇用創造協議会を設立し、IT研修などの人材育成や就業支援に取り組みました。これらの成果として、平成24年度の新規就業者数は1,000人を上回る見込みとなっております。

2つ目の目標「教育・子育て支援の拡大」については、まず教育分野では、昨年4月に彩橋小中学校が開校しました。また、教育環境整備として、田場小学校校舎、具志川中学校体育館、伊波小学校の校舎及び体育館、伊波幼稚園舎の増改築事業、彩橋小中学校の体育館及び水泳プールの改築事業、彩橋幼稚園新築事業を実施しました。

さらには、小中学校の学力向上対策や語学教育、青少年の健全育成などの強化にも取り組みました。

子育て分野では、勝連地区の「きむたかこどもセンター」の建設に向けた実施設計等を実施するとともに、配慮を要する子の巡回指導事業や放課後児童

クラブ支援事業を実施し、子育て環境の整備ときめ細かな支援の充実に取り組みました。

さらに、ヒブ及び小児用肺炎球菌ワクチン接種の公費助成を実施し、子どもたちの健康対策と保護者の経済的負担軽減に取り組みました。

3つ目の目標「地元企業育成と誘致、そして地産地消」について、まず産業振興の重要拠点である中城湾港新港地区の整備では沖縄県と連携し、内閣府や国土交通省などの関係省庁へ強く要請を行い、その結果、航路浚渫工事の工期短縮、東西埠頭連結道路の事業化、県による定期船就航実証実験事業が開始しました。

また、企業誘致では、中城湾港新港地区の賃貸工場を中心に金型及び機械装置製造関連等の企業進出が進み、平成22年度と24年度を比較すると35企業が新規立地し、雇用者数が1,337人増加するなど、着実な成果が出ております。

さらには、同地区が各種メディアでも取り上げられるなど、有望な企業立地環境として注目を浴び、投資環境を視察する企業ツアーが続々訪れております。

地産地消では、第1次産業の活性化と6次産業の展開を図るため、農水産業振興戦略拠点施設の整備に向け事業計画書等の策定に取り組みました。

このように、私は平成21年5月にうるま市長に就任してからこれまで、市